

## マシナリー事業の戦略拠点、刈谷第6工場が竣工

2016年7月11日、刈谷工場（愛知県刈谷市）に新たに建設された第6工場の竣工式が行われました。新工場の延床面積は約23,000m<sup>2</sup>で、これで刈谷工場全体の延床面積は10万m<sup>2</sup>の規模となりました。

刈谷工場で主に生産しているのは、スマートフォンの部品や自動車部品を生産する際に使われる工作機械です。工作機械の市場は需要変動が激しく、新中期戦略「CS B2018」の柱の一つであるマシナリー事業の成長戦略として、急増産の需要に素早く対応する生産性の向上が重要課題となっていました。第6工場の稼働によって、刈谷工場の生産能力はこれまでの1.5倍となり、大量受注に対応できる体制が整いました。

また、工作機械の一部の重要部品の生産はこれまで外注に頼ってきましたが、第6工場に導入された新設備によって、その一部を社内生産できるようになりました。さらに、同工場の生産数量が少ない時は倉庫として活用することで、外部倉庫の借用による物流コストの削減が期待できます。



刈谷工場（白くハイライトした部分が新工場）

## 名古屋市科学館プラネタリウムのネーミングライツ契約更新

ブラザー工業は2011年、名古屋市科学館の世界最大のプラネタリウムのネーミングライツ（命名権）を取得し、「Brother Earth（ブラザーアース）」と名付けました。「Brother Earth」は、ブラザーグループが掲げる環境活動のスローガンでもあり、「次世代を担う子どもたちが、宇宙への興味と理解を深め、美しい地球の大切さを再認識してほしい」というブラザーの思いが込められています。この命名権の契約満了に伴い、2015年度末に、5年間の契約更新を行いました。

プラネタリウムへの来場者は既に300万人を超えています。今回の契約更新を機にプラネタリウムの座席のカバーにブラザーのロゴが入り、来場者の皆さまに、より一層ブラザーを身近に感じていただけるようになりました。



2016年3月19日に行われた契約調印式にて。河村たかし名古屋市長と社長の小池

## IR活動報告

### 名証の株式投資サマーセミナーに参加

2016年9月13日に開催された、株式投資サマーセミナー（名古屋証券取引所主催）に参加しました。プレゼンターとして、常務執行役員の浅井が登壇。約350名の来場者に、ブラザーの事業内容や業績についてご説明しました。今後も、より多くの投資家の皆さまにご支援いただけるよう、積極的なIR活動に努めます。



会場は名古屋市中電ホール

### 株主アンケートの結果を株主通信に反映

第124期決算号にて実施した「株主アンケート」では、5,193名（22.9%）の方からご回答をいただきました。貴重なお意見とご協力、誠にありがとうございました。

株主の皆さまからのご意見をもとに、今回、株主通信の改訂を行いました。誌面デザインでは、「見やすさ」と「わかりやすさ」を追求して、文字や図表を改善。記事内容としては、掲載のご要望の多かった「ドミノ事業」や「ブラザーの取り組み」を、特集としてご紹介しています。

これからも皆さまからのご意見を誠実に受け止め、今後の経営やIR活動に反映させていきたいと考えております。